

科目名	美術材料学		教員名	栗本 佳典	
Subject	Workshop of Materials for Beauty				
開講年次	1	開講時期	前期	単位	4
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	60
実践的教育	×				
主な学習効果	1) 美容技術とデザイン力、すなわち美容における実践力		2) 表現力、すなわち芸術における実践力		
	△		◎		
科目の概要	描画に用いられる各種の材料・画材の基本的な性質を、演習を通して理解します。 鉛筆、パステル、ペン、水彩絵の具などを使用し、それぞれの材料による幅広い表現技法を学びます。				
授業の目標	さまざまな画材の基本的な特性を理解し、それらを使って実際に作品を制作することによって、表現力を高め、美術に関する知識の幅を広げ、人間の持っている工夫する力を知ることができる。 また、新しい木版画技法であるマチエール版画を理解することによって間接表現を知り、美術表現の幅を広げることができるようになる。				
時間外学習 (予習・復習)	月に一回程度は美術館等に行き、毎回４時間程度かけて幅広いジャンルの作品を鑑賞し、さまざまな美術材料や技法について研究してください。				
教科書・教材	教科書	なし			
	教材	なし			
	使用設備・備品	なし			
	参考文献	画材大全（美術出版社）			
評価方法	材料や技法の理解度２０％ 課題に取り組む姿勢５０％ 課題作品の完成度３０％				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意					
本科目履修と関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	オリエンテーション	さまざまな描画材料があることを認識できる。	
第2回	顔料とメディウムの関係	さまざまな描画材料の特質を認識できる。	スケッチブック使用
第3回	水彩表現（1）	水彩絵の具の特性を知り、色彩表現を身につけることができる。	スケッチブック使用
第4回	水彩表現（2）	水彩絵の具の特性を生かして作品を制作することができる。	スケッチブック使用
第5回	コンテによる人物描写①	コンテの特徴や描画方法が理解できる。	色画用紙使用
第6回	コンテによる人物描写①	コンテの特徴や描画方法が理解できる。	色画用紙使用
第7回	コンテによる人物描写②	コンテによる濃淡を表現することができる。	色画用紙使用
第8回	コンテによる人物描写②	コンテによる濃淡を表現することができる。	色画用紙使用
第9回	コンテによる人物描写③	コンテを使い、明暗を意識して人物の顔を正確に描くことができる。	色画用紙使用
第10回	コンテによる人物描写③	コンテを使い、明暗を意識して人物の顔を正確に描くことができる。	色画用紙使用
第11回	ペン画①	ペンによる点描や線描の表現方法が理解できる。	B3ボード使用
第12回	ペン画①	ペンによる点描や線描の表現方法が理解できる。	B3ボード使用
第13回	ペン画②	ペンによる点描や線描をおこなうことにより、絵画表現の幅を広げることができる。	B3ボード使用
第14回	ペン画②	ペンによる点描や線描をおこなうことにより、絵画表現の幅を広げることができる。	B3ボード使用
第15回	ペン画③	完成度の高い作品を目指すことができる。	B3ボード使用

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第 1 6 回	ペン画③	完成度の高い作品を目指すことができる。	B3ボード使用
第 1 7 回	木版画マチエール技法①	版木に凹凸をつけるマチエール版画の表現法を理解できる。	版木、版画用紙使用
第 1 8 回	木版画マチエール技法①	版木に凹凸をつけるマチエール版画の表現法を理解できる。	版木、版画用紙使用
第 1 9 回	木版画マチエール技法②	マチエールを意識して版を作成することができる。	版木、版画用紙使用
第 2 0 回	木版画マチエール技法②	マチエールを意識して版を作成することができる。	版木、版画用紙使用
第 2 1 回	木版画マチエール技法③	マチエール版画を制作することで間接表現の魅力を知り幅を広げることができる。	版木、版画用紙使用
第 2 2 回	木版画マチエール技法③	マチエール版画を制作することで間接表現の魅力を知り幅を広げることができる。	版木、版画用紙使用
第 2 3 回	色鉛筆による人物画①	人物の年齢や表情などの特徴を観察し、形、明暗、色彩をとらえることができる。	B3ボード使用
第 2 4 回	色鉛筆による人物画①	人物の年齢や表情などの特徴を観察し、形、明暗、色彩をとらえることができる。	B3ボード使用
第 2 5 回	色鉛筆による人物画②	明暗、色彩の表現を工夫する力を養うことができる。	B3ボード使用
第 2 6 回	色鉛筆による人物画②	明暗、色彩の表現を工夫する力を養うことができる。	B3ボード使用
第 2 7 回	色鉛筆による人物画③	人物の形、明暗、色彩を総合的に表現する力を身につけることができる。	B3ボード使用
第 2 8 回	色鉛筆による人物画③	人物の形、明暗、色彩を総合的に表現する力を身につけることができる。	B3ボード使用
第 2 9 回	講評会	制作した作品をふり返ることにより、各材料による表現の特性を再度理解することができる。	
第 3 0 回	講評会	表現の特性を理解するとともに自己の作品について解説できる。	